

# 仮設住宅に生活用品セット

## 東京現地本部が宮城・山元町に届ける

東京教区現地緊急災害対策本部（本部長＝山本政秀教務所長、築地別院内）は5月2日、仮設住宅で使ってもらおうと、生活用品を準備。同本部は職員10人（写真）同町職員は「セ

ラスチック製衣装ケースに詰められた150セットを、津波で大被害を

受けた宮城県山元町に

届けた。

器用洗剤など20品目の生活用品を詰め込み、本願寺からのメッセージを添えて寄贈した。同町職員は「セットは同町に完成



する141戸の仮設住宅に配られる予定。また、築地別院の不

同本部は「今後も被災地からの要望に迅速に対応して、きめ細やかな支援を続けていき

二川公勝輪番は4月27日、原発事故の警戒区域となる福島県浪江町の臨時役場がある同県二本松市役所東和支所を訪れ、副町長の上野晋平さん（浪江町・光明寺門徒）らと面談し、今後の支援態勢について話し合った。

翌28日には、本山の緊急災害対策本部副本部長である山内教領宗務首都圏センター所長

らが二本松市役所に42型の液晶テレビ5台を届けた。同市・顕法寺の高橋弘融住職や同県議会の本田朋議員らが同席。三保恵一市長は「大遠忌の忙しい中にもかかわらず有り難い支援、助かります」と謝辞を述べた。

テレビは大阪教区からの支援物資。